

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニク科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時期	2年前期	単元	学科	教科名	シャシ整備2F
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級シャシ	発行日	2025年3月25日
			3級シャシ		
総時限	30時限			教科 担当	柴田 一輝
必須時限	28時限				中瀬 健
<b>1. 指導教員の実務経験</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> 非該当					
自動車整備の実務経験がある教員によりシャシの構造・作動について指導する。					
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>					
動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解する。 動力伝達装置のCVTの構造・作動を理解する。 アクスル及びサスペンション構造・機能を理解する。 ステアリング装置の構造・作動を理解する。 ホイールアライメントの種類・役割を理解する。					
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>					
動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構成、部品名称、役割を説明できる。（プランetaryギヤ式/油圧制御式、電子制御式、CVT） 動力伝達装置のCVTの構成、部品名称、役割を説明できる。 アクスル及びサスペンション構造・機能を説明できる。 ステアリング装置の構造・作動を説明できる。 ホイールアライメントの種類・役割を説明できる。					
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、により100点満点で評価する</li> <li>・合格点：60点以上 80点以上：優　60点以上：良（一級工学科70点以上）　60点未満：不可（一級工学科70点未満）</li> <li>・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。</li> <li>・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。</li> </ul>					
<b>5. 準備学習</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3級シャシ 動力伝達装置」を復習しておくこと</li> </ul>					

自動車整備科、一級自動車工学科、  
自動車整備・カーボディマスター科、  
自動車整備・マスターメカニック科、  
自動車整備・トータルマスター科

## 2025年度 授業計画

時期	2年前期	単元	学科	教科名	シャシ整備2F	
<b>5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)</b>					<b>6. 教科書、資料、備品類</b>	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	第1章 総論				2級シャシ	
2	4) 走行性能曲線図				3級シャシ	
3	第2章 動力伝達装置 2) MTのクラッチ				遊星歯車模型	1個
4	2) AT (イ)トルクコンバーター					
5	(ロ)変則機構					
6	(ハ)電子制御装置					
7	(ト)ロックアップ機構					
8	(チ)安全装置					
9	(2)CVT					
10	3)差動制限型ディファレンシャル					
11	4)インタ・アクスル・ディファレンシャル					
12	1)保守に係る点検・整備					
13	2)動力伝達装置の不具合現象が発生しているときの着目点					
14	総復習					
15	中間試験					
16	第3章 アクスル及びサスペンション 1 概要					
17	2)エア・スプリング型サスペンション					
18	3)電子制御式サスペンション					
19	3 整備					
20	第4章 ステアリング装置 構造・機能					
21	2)パワー・ステアリング					
22	(2)電動式パワー・ステアリング					
23	3 整備					
24	第5章 ホイール及びタイヤ					
25	3 整備					
26	第6章 ホイール・アライメント 1 概要					
27	3)キャスター 4)キング・ピン計画					
28	5)トー 6)タイロッド長とトーの関係					
29	総復習					
30	期末試験					

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニク科、 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時期	2年前期	単元	学科	教科名	シャシ整備2F
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級シャシ	発行日	2025年3月25日
			3級シャシ		
総時限	30時限			教科 担当	柴田 一輝
必須時限	28時限				中瀬 健
<b>1. 指導教員の実務経験</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> 非該当					
自動車整備の実務経験がある教員によりシャシの構造・作動について指導する。					
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>					
動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解する。 動力伝達装置のCVTの構造・作動を理解する。 アクスル及びサスペンション構造・機能を理解する。 ステアリング装置の構造・作動を理解する。 ホイールアライメントの種類・役割を理解する。					
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>					
動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構成、部品名称、役割を説明できる。（プランetaryギヤ式/油圧制御式、電子制御式、CVT） 動力伝達装置のCVTの構成、部品名称、役割を説明できる。 アクスル及びサスペンション構造・機能を説明できる。 ステアリング装置の構造・作動を説明できる。 ホイールアライメントの種類・役割を説明できる。					
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、により100点満点で評価する</li> <li>・合格点：60点以上 80点以上：優　60点以上：良（一級工学科70点以上）　60点未満：不可（一級工学科70点未満）</li> <li>・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。</li> <li>・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。</li> </ul>					
<b>5. 準備学習</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3級シャシ 動力伝達装置」を復習しておくこと</li> </ul>					

自動車整備科、一級自動車工学科、  
自動車整備・カーボディマスター科、  
自動車整備・マスターメカニック科、  
自動車整備・トータルマスター科

## 2025年度 授業計画

時期	2年前期	単元	学科	教科名	シャシ整備2F	
<b>5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)</b>					<b>6. 教科書、資料、備品類</b>	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	第1章 総論				2級シャシ	
2	4) 走行性能曲線図				3級シャシ	
3	第2章 動力伝達装置 2) MTのクラッチ				遊星歯車模型	1個
4	2) AT (イ)トルクコンバーター					
5	(ロ)変則機構					
6	(ハ)電子制御装置					
7	(ト)ロックアップ機構					
8	(チ)安全装置					
9	(2)CVT					
10	3) 差動制限型ディファレンシャル					
11	4) インタ・アクスル・ディファレンシャル					
12	1) 保守に係る点検・整備					
13	2) 動力伝達装置の不具合現象が発生しているときの着目点					
14	総復習					
15	中間試験					
16	第3章 アクスル及びサスペンション 1 概要					
17	2) エア・スプリング型サスペンション					
18	3) 電子制御式サスペンション					
19	3 整備					
20	第4章 ステアリング装置 構造・機能					
21	2) パワー・ステアリング					
22	(2) 電動式パワー・ステアリング					
23	3 整備					
24	第5章 ホイール及びタイヤ					
25	3 整備					
26	第6章 ホイール・アライメント 1 概要					
27	3) キャスター 4) キング・ピン計画					
28	5) トー 6) タイロッド長とトーの関係					
29	総復習					
30	期末試験					